

留学生の声エッセイ

経営学部 リム チャンウ(林燦宇)

<私の初めての日本生活>

皆さん、こんにちは。私は韓国から交換留学生として3月30日に来日し、今は城西大学の経営学部にも所属しているリム・チャンウと申します。韓国から日本に来て約3か月。あんまり長くない時間ですが、色んな経験ができたと思います。なので、自分が経験したことの中で記憶に深く残ったものを紹介したいと思います。

私は留学生としては年齢が少し高い方です。なので、最初にうまく適応できるか心配もありました。けど、留学生サポーターズ(JIST)の皆さんから色んな話をかけてくれたこともあり、色んなイベントも開催してくださってすごく楽しいでした。



<群馬県ツアーで行った榛名神社>

その中でも記憶に深く残ったイベントは群馬県ツアーです。私は日本の文化、その中でも伝統的な文化に結構関心があります。伝統的な建物、食べ物など、あらゆるものを好きなので、JISTと国際課で準備してくださった群馬県旅行は私にとってすごくありがたい機会でした。また、様々なプチイベントも行い、普段にはやらない様々なスポーツやゲームを楽しめました。



<プチイベント：バドミントン>



<プチイベント：ドッジボール>

学校生活も期待以上楽しいものでした。日本の電車はあんまり乗ったことがないので、最初は学校に行くことさえどこに行くべきかが紛らわしかったのですが、時間が過ぎたら慣れてきて、通学路を楽しむことができました。授業についても、確かに韓国で今まで学んだこととは別のものを学びました。韓国では日本専攻として日本に関するものを学びましたが、城西では経営学部所属として留学生向けの日本語と経営学を学びました。経営学の授業は少し難しい授業もありましたが、「会計入門」という授業は難しい分、面白い授業でした。そして、日本の大学は時限当たり時間が韓国とは違いがありますが、それも慣れていくと楽でした。



<入学式の時の写真>

日本での就職を考えている私としては日本の生活様式や食生活など、色んなことを直接体で経験してみる方がいいと思いましたが、今回の留學生活がとっても大事な経験になると思います。そして、単純に学べる日本語ではなく、日常生活で使う日本語も身につけることができたと思います。これは今後の日本就職に役に立つと思います。一か月後には帰ることが残念だと思うくらい、城西大学での生活は楽しかったです。悩みもありましたが、今は日本に留學を来た事に後悔はありません。JIST の皆さんも、国際課の皆さんも、他の日本の方々への感謝いたします。ありがとうございます。半年よりも短い4ヶ月程度の期間ですが、残っている時間も大事にし、一生懸命頑張ります！